

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まごづくり課	課長名	西野 光	
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法		直営、補助										
補助率		1人あたり5千円、1団体上限10万円										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [楽しみを広げる(創造力) 政策 [100年に一度のまちづくり]]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]												
小松空港就航の国際線は新型コロナウイルス感染症の影響により運休しており、感染状況を見極めながら、利用回復を図る必要がある。												
[事業目的]												
新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込んだ小松空港就航の国際線について、感染状況を見極めながら利用回復を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口回復を図る。												
[事業内容]												
<p>県民による国際線利用回復を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種広報媒体を利用した県民向け利用回復促進プロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・電車中吊り広告、ラジオスポットCM、周知チラシ作成（県内経済団体、旅行会社、市町等に配布） ○小松空港国際線誘致に向けた海外への職員派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県とともに海外の政府機関や航空会社を訪問し、定期便誘致を協議 ○小松空港国際線を利用する場合の国際交流費助成（補助金） <ul style="list-style-type: none"> ・小松空港国際線を利用し、訪問先と国際交流事業を実施または福井県を訪問する団体受け入れ、国際交流事業を実施する福井県内の団体に対し助成 ・対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） ・補助額：1人あたり5千円（1団体100千円上限） ・対象者：経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を実施する福井県内の団体（親善協会、スポーツ協会等） 												
[受益者] 小松空港国際線の利用者など						[想定される受益者数] 約13千人（小松空港国際線を利用する福井県民・推計）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港国際線利用促進事業 (役割分担) 本事業においては、福井県民向けに特化した広報を行うほか、国際定期路線を利用した国際交流事業を行う県内団体への補助を行う。				
市町との連携状況						他県の状況		小松空港国際定期便利用国際交流事業促進助成金（石川県） 対象者：小松空港発着の国際定期便により、韓国、中国または台湾を訪問したり、現地の団体を受け入れて国際交流事業を実施する石川県の団体 対象経費：国際交流事業の経費（交流会費、講師謝金、通訳費等） 補助額：1人あたり5千円（1団体100千円上限）				

小松空港国際定期路線開拓推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	交通まごづくり課	課長名	西野 光			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1人あたり5千円、1団体上限10万円													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,429	714			715	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,368	2,240	2,114	2,142	1,429	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、国際交流費助成（補助金）の金額を減額（△700千円）							
2月現計予算額の推移		2,368	2,240	2,114	0									
決算額の推移		1,421	1,444	1,501										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標) 実績								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。					
活動指標	県内団体への補助 (目標) 実績	(10) 1	(10) 4	(10) 3	(10) 0	(3)								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
新型コロナウイルス感染症の影響による国際線の運休に伴い事業中止				新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、国際交流費助成（補助金）の金額を減額（△700千円）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△713			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				